「狩場台・糀台地区における暮らし・居場所調査」報告

兵庫県立大学　国際商経学部
和田　真理子

自己紹介

- 都市地理学、経済地理学、都市政策が専門
- インナーシティやニュータウンなどの再生に関心
- 東京・八王子市出身
- 2009年から、地域と大学の連携による明舞団地の再生に取り組む
- 加西市総合政策審議会会長、姫路市行財政改革市民会議副会長、神戸市すまい審議会委員、交通事業審議会委員、西宮市都市計画審議会委員　等

報告の流れ

- 近隣コミュニティの重要性
- 「二層の居場所」
- 狩場台・糀台地区の特性
- 調査報告①：調査の概況と回答者
- 調査報告②：暮らしの様子とニーズ
- 調査報告③：まちの居場所について
- 調査報告④：コミュニティかりばの現状と可能性

近隣コミュニティの重要性

- 孤独は健康に害を与える

孤独は毎日タバコ15本を吸うのと同等の害を健康に与える
一人でいることと孤独は違う

- 良い住環境、子育て環境と仕事を求める20代、30代

※子どもは小学校区レベルのコミュニティで育つ

- ライフスタイルの複線化で地域デビューを模索する50代、60代
- 高齢化で行動範囲が狭まる70代、80代

※全世代にとって近隣コミュニティが機能していることが大事

二層の居場所

- しかし、人付き合いが苦手な人、あっさりした付き合いを求める人も多い

→二層の居場所が必要

- 第一層：広い意味での居場所（必然的に顔を合わせやすい空間を作り出し、ゆるやかにつながりやすくすること）
- 第二層：狭い意味での居場所（ふれあい、集いの場）

※第一層でより多くの人と場を共有して顔見知りになり、必要に応じて第二層に発展

※二層の居場所づくりにコミュニティかりばが役割を果たせるのでは

狩場台・糀台地区の特性

- 一戸建中心、成熟し安定したまちであり、住民の住み続けたい意向、満足度は高い
- 自立し充実した生活を送る人々／つながり・信頼関係（ソーシャルキャピタル）には向上の余地あり
- 生活機能に加え、職場も充実
  - 15分圏内（徒歩、バス、自家用車）に西神中央
  - 工業団地その他のさまざまな雇用

※「職住近接の自立都市」になりつつある

- 高齢化が43%と進んでいる一方、子どもは増える傾向

調査報告①
調査の概要と回答者

アンケート調査の実施方法の概要

- 調査対象地域：狩場台1～5丁目、糀台1～4丁目
- 地域別配布状況：糀台2,092世帯、狩場台2,117世帯
- 調査時期：令和4年7月7日～10日（狩場台婦人会の協力により上記の各世帯の郵便ポストに投函）
- アンケートの締切：2022年7月25日
- 単身世帯以外の家族の方が記入できるように、一世帯にアンケート調査票を2枚同封した。
- 無効票（6件）は、2枚とも白紙やダブりのみとした。

アンケートの配布・回収状況

配布数（A）		4,209世帯	8,418枚
回収票	持参分	52通	74枚
	後納郵便	1,241通	1,786枚
	計（B）	1,293通	1,860枚
有効票（C）		＊	1,854枚
割　合（B/A）		31％	＊

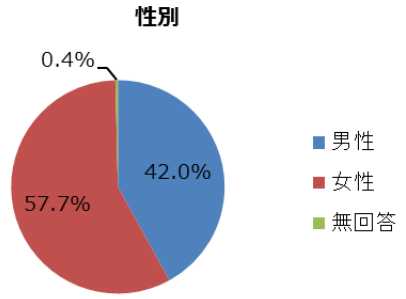
調査対象地域別（丁別）回答状況

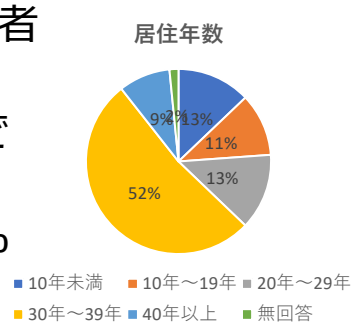
地域別	世帯数	回答者	回答率	（参考）高齢化率	（参考）賛助会員
糀台１丁目	163	98	60.1%	47.2%	4人
糀台２丁目	983	107	10.9%	32.0%	3人
糀台３丁目	600	249	41.5%	46.4%	4人
糀台４丁目	1248	341	27.3%	28.9%	9人
狩場台１丁目	693	299	43.1%	44.0%	13人
狩場台２丁目	359	191	53.2%	48.5%	19人
狩場台３丁目	546	176	32.2%	28.4%	16人
狩場台４丁目	393	198	50.4%	46.6%	7人
狩場台５丁目	381	185	48.6%	46.9%	11人

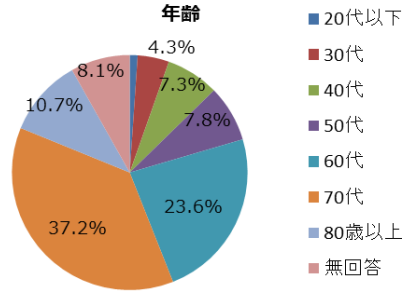
（備考１）世帯数は、令和4年7月31日現在
（備考2）高齢化率は令和2年国勢調査
（備考３）賛助会員数は2022年11月末現在

回答者

- Q１ 男性42%、女性57.7%
- Q２ 65歳以上が63.5%、70代が37.2%と最も多い
- Q３ 夫婦のみ世帯が50.5%と半数を占め、単身者が10.7%
- Q７ 30年以上住んでいる人が61.3%
- Q８ 一戸建が69.7%



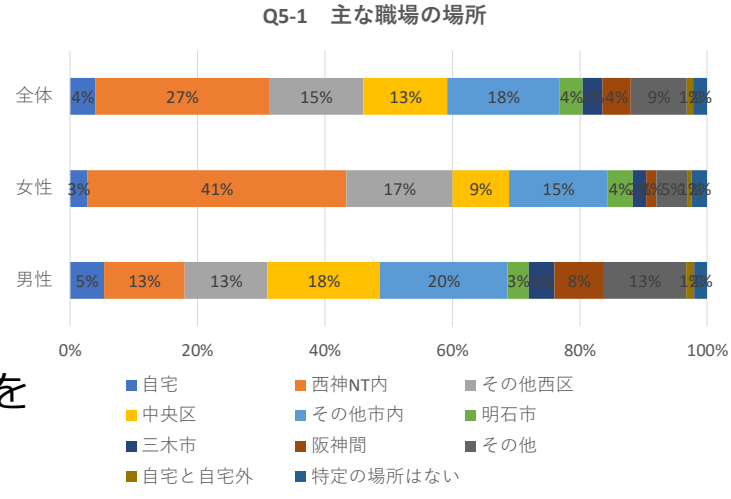




回答者の仕事

- 家事以外の仕事をしている人は1/3
- 西神NT内で働いている人が31%、西区内が46%（男性31%）
- 中央区は13%（男性18%）、かつては3割を超えていた

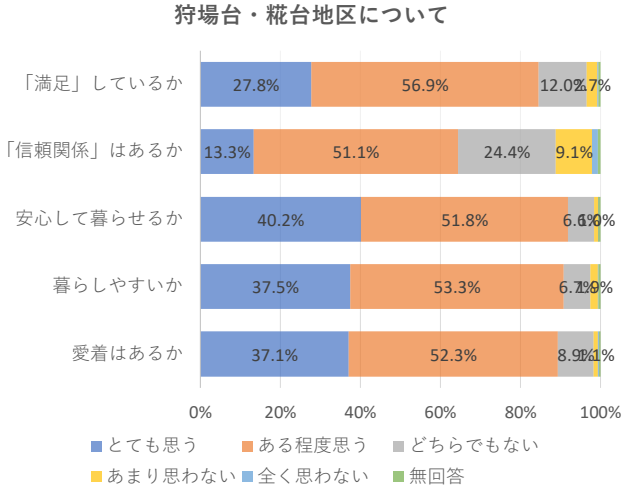
※過去の調査に比べると、職住近接度が高まっている



調査報告②
暮らしの様子とニーズ

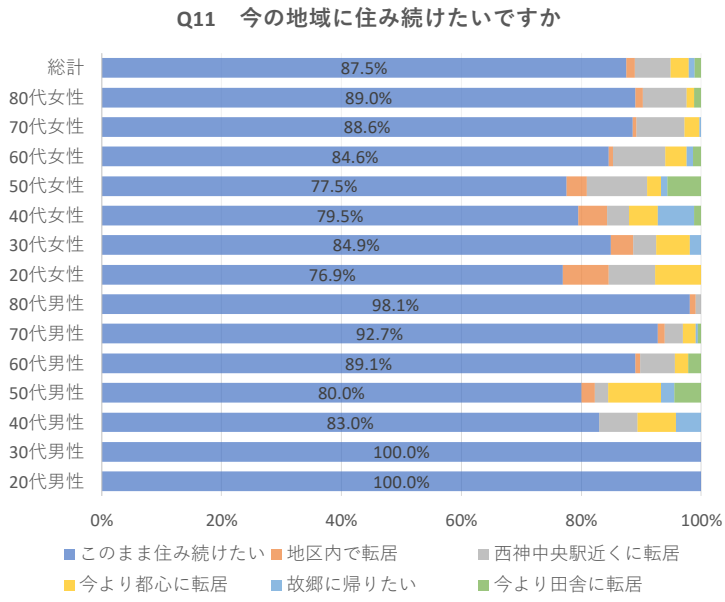
狩場台・糀台地区について

- いずれも他地域と比較すると全体的に高い
- 愛着、暮らしやすいか、安心が９割程度できわめて高い一方、「満足」でやや下がり、「信頼関係」では64.4%
- 「安心」は50代以下、特に女性で高く、子育て環境として高評価か



今の地域に住み続けたいですか

- 住み続けたい人は、87.5%とかなりの高率
- 全世代で男性のほうが高く、女性はより駅近、都心への住み替え意向が10～15%程度ある
- 地区別の分析では、駅に近い利便性に優る地区が高い傾向

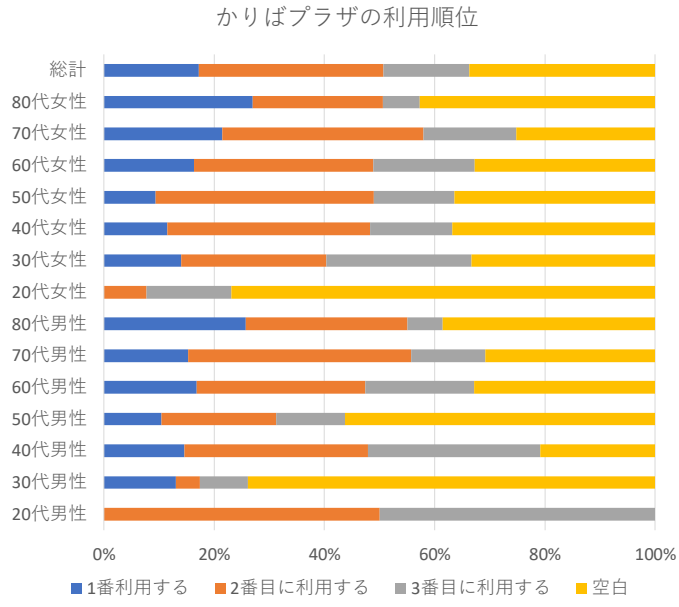


買物でよく行く場所

- 西神中央メインの人は62.7%、かりばプラザメインの人は17.2%、合わせて約8割が西神NTで主に買物している

※日常生活のNT地域内での自立性が高い

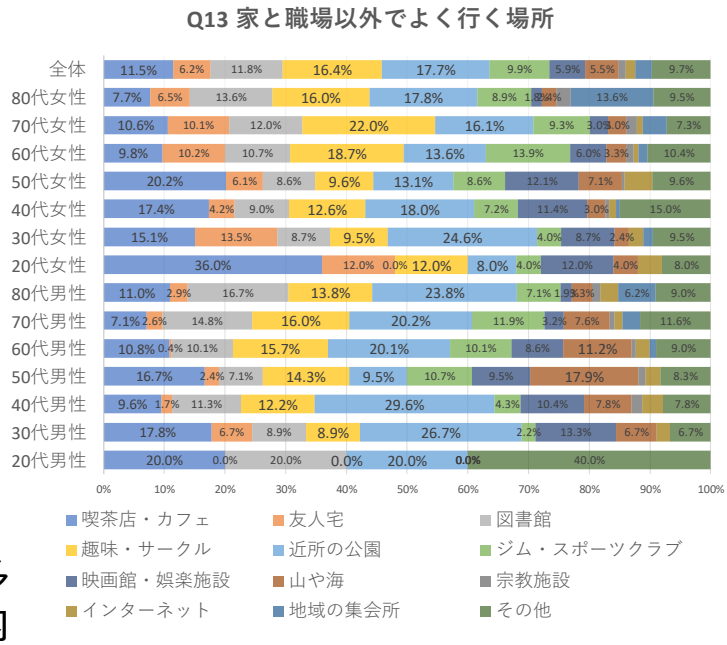
- かりばプラザの利用は50代が一番少なく、その後は年齢とともに上昇



家と職場以外でよく行く場所

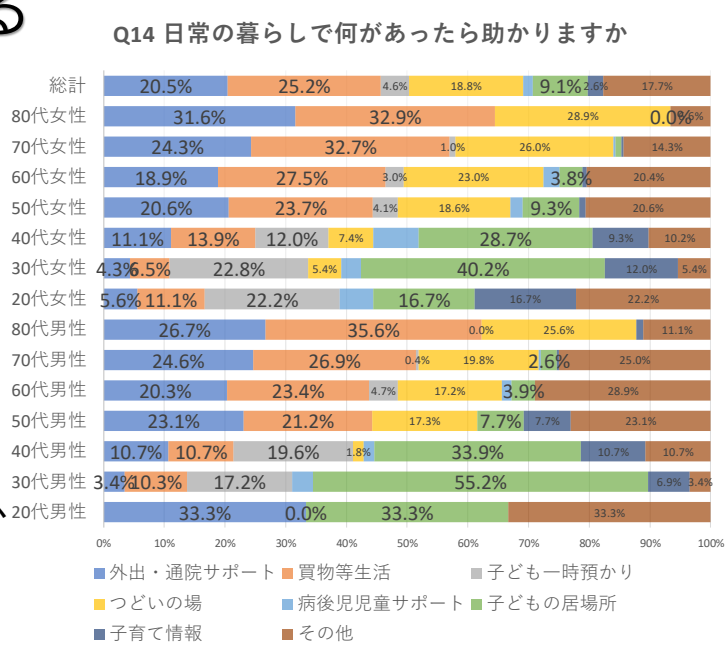
- 全体で近所の公園が多く（17.7%）、趣味・サークルなどが16.4%
- 公園の利用は、子育て期と高齢者が多い
- 男性はアウトドア
- 若い女性はカフェ、高齢女性は趣味など

※一人でも行ける場所が多い印象、6割強が西神NT内



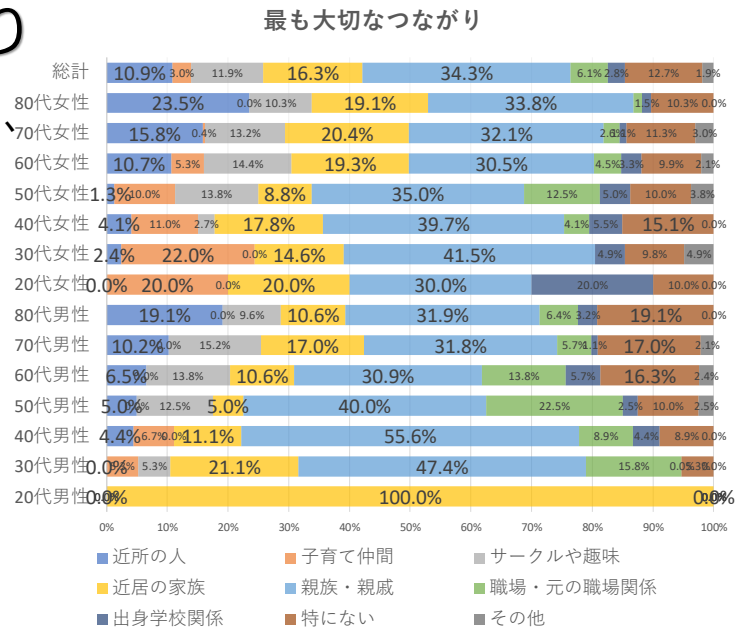
日常の暮らしであると助かること

- 買物等生活が最も多く25.2%、外出・通院、つどいの場が続く
- 年齢で大きく異なり、30～40代は子どもの居場所が圧倒的に多い
- 50代で大きくニーズが変わり、生活サポート、つどいの場が増える
- その他は、近くの飲食店や自習室を求める声



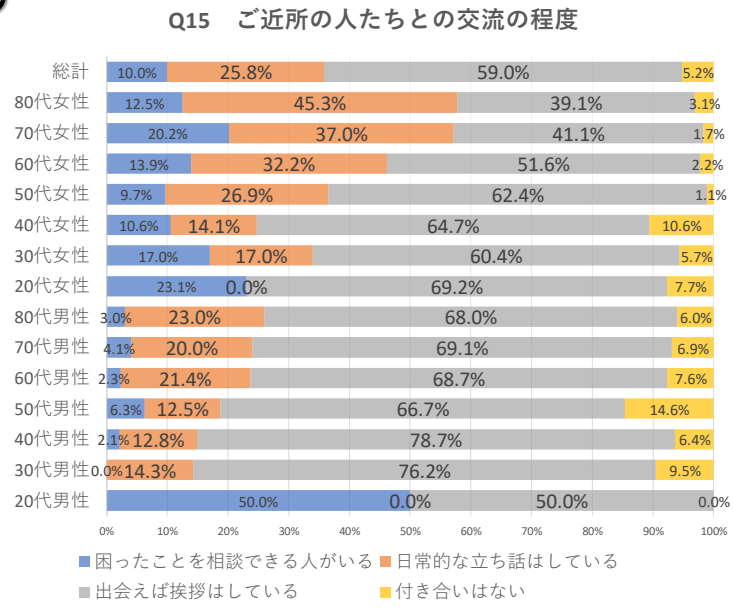
最も大切なつながり

- 全体で親族・親戚が多く、近居の家族を合わせると50%超える
- 現役世代の男性と50代女性は職場関係が多い
- 60代以上の男性は「特にない」が15%超える
- 子育て期の女性は子育て仲間が20%を超える
- 近所の人は年齢とともに上がる傾向



近所の人たちとの交流の程度

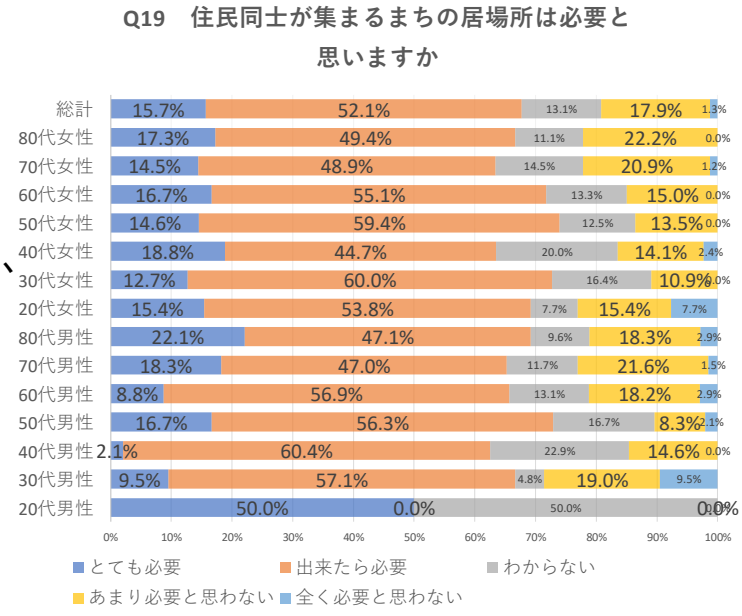
- 全体で6割近くが挨拶程度の付き合い
- 年齢とともに「立ち話」が増える
- 男女で大きく異なり、特に60代以上は差が大きい
- 「立ち話」以上の関係は、70代以上の女性は約6割だが、男性は80代でも26%



調査報告③
まちの居場所について

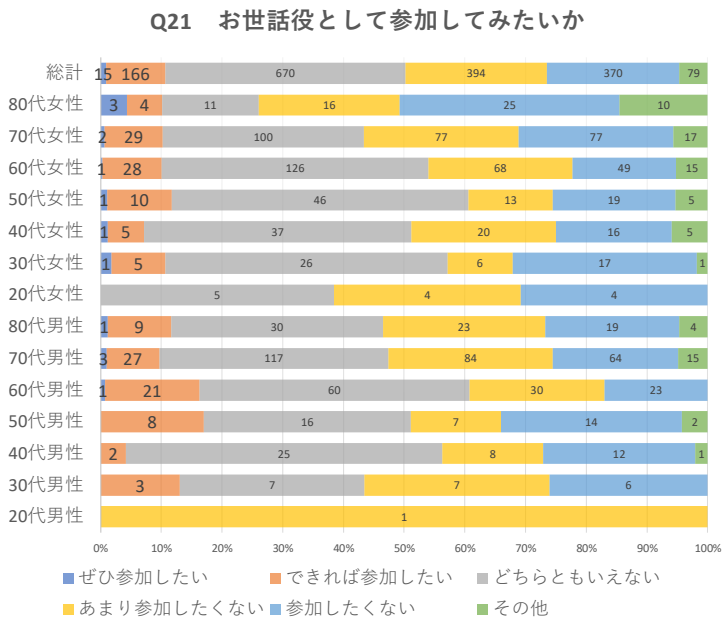
まちの居場所は必要と思いますか

- 「とても」「できたら」で67.8%
- 40代がやや低いものの、特に若い人が無関心ということはない
- 「あまり必要と思わない」「全く必要と思わない」はむしろ高齢者のほうが多い



お世話役として参加してみたいか

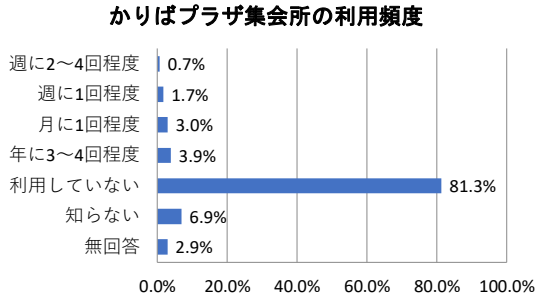
- 「ぜひ」「できれば」を合わせると181名
- 絶対数は少ないが、30、50、60代男性の割合が相対的に多い
- 全体的に10人に1人くらいは思いを持たれている
- 「得意分野がないから」という人も

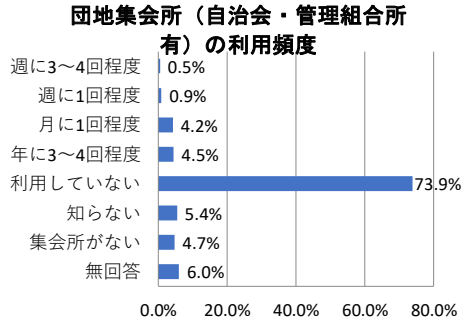


かりばプラザ集会所、団地集会所の利用頻度

- かりばプラザ、団地集会所は利用していない人がほとんど

※「居場所」として活用の余地が大きい

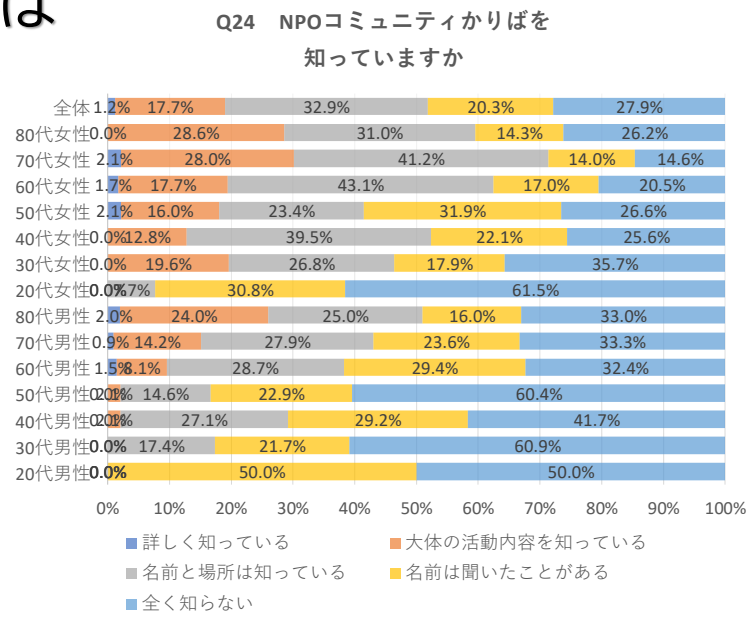




調査報告④ コミュニティかりばの現状と可能性

コミュニティかりばを知っていますか
－性別・年代別－

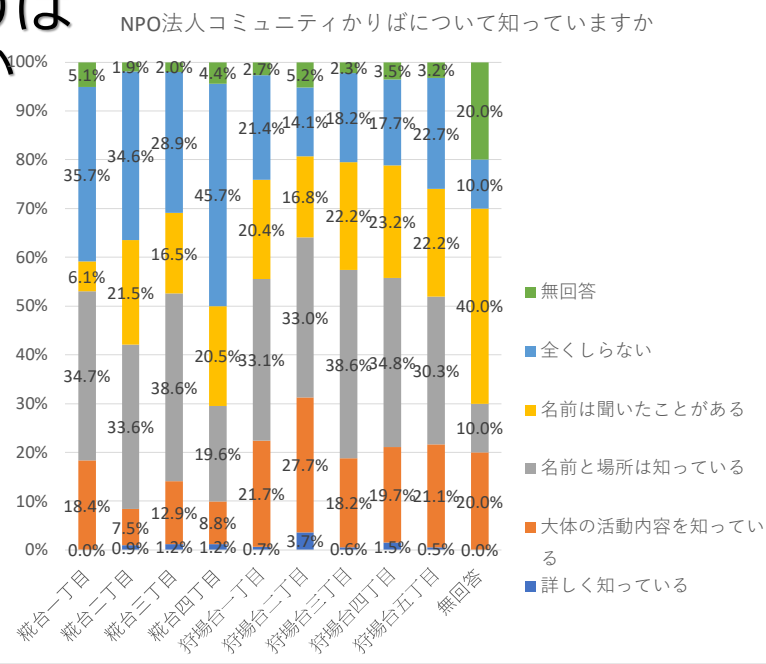
- 「名前は聞いたことがある」まで何らかの形で「知っている」が69.7%、「全く知らない」は27%
- 全く知らない人は全世代で男性が多く、30代、50代男性で６割に達する



コミュニティかりばを知っていますか

－地域別－

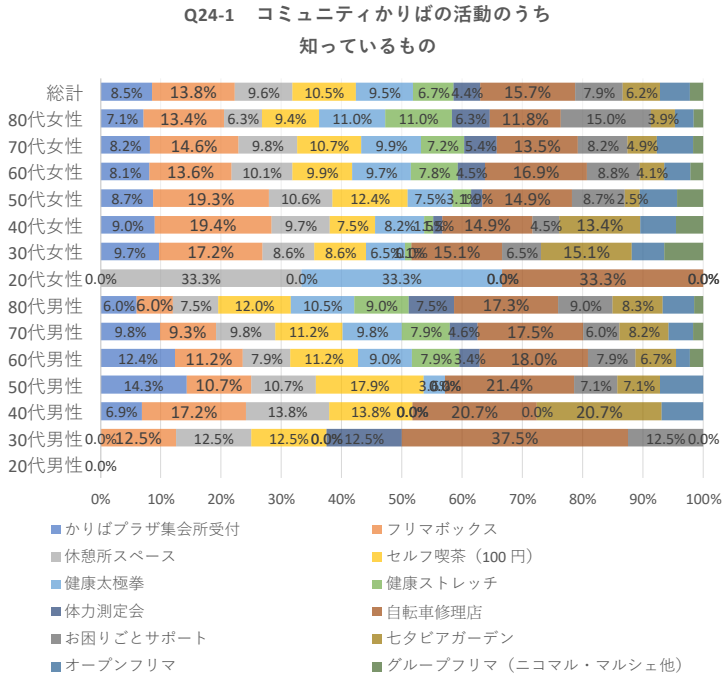
- 知っている人は狩場台二丁目、三丁目、四丁目で８割程度
- 「詳しく知っている」「大体の活動内容を知っている」が多いのは二丁目
- 糀台四丁目では知らない人が45.7%



知っている活動

- 全世代で自転車修理店の認知度が高い
- 30～50代女性はフリマボックス、30、40代女性と40代男性は七タビアガーデン
- お困りごとサポートはあまり知られていない

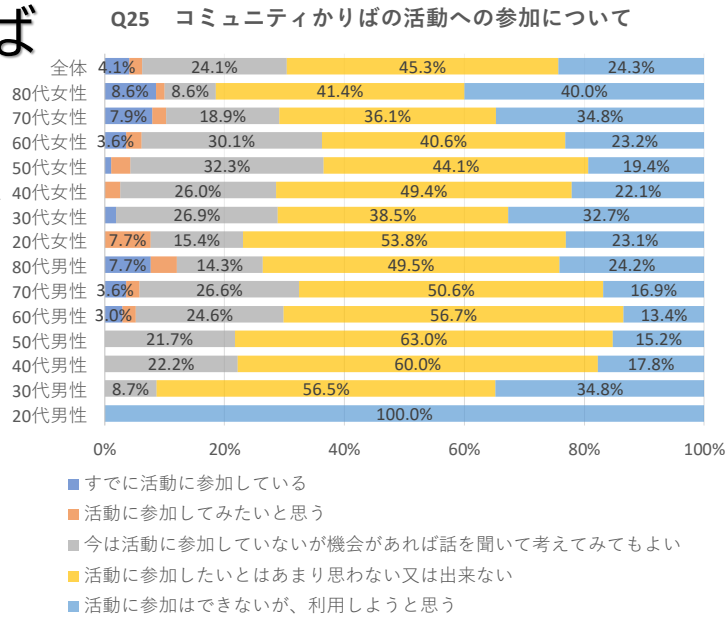
※生活サポートのニーズが高いことを考えると開拓の余地が大きい



コミュニティかりばの活動への参加

- 「参加してみたいと思う」が2%、「機会があれば」が24.1%
- 高齢女性のほか、30代の利用意向が3割強と高い

※子育て世代のニーズに応え、余裕ができたときに担い手になる可能性



まとめ　自立したまち・自立した生活

- 仕事、買物、よく行く場所（広い意味での居場所）など西神地域で過ごす時間が長い
- 愛着、暮らしやすさへの評価、住み続けたい意向が高い
- 大切なつながりは親族が多く、信頼関係や近所での交流から人づきあいはあっさりめ（特に男性）
- 生活であったら助かるものは、生活サポートや子供の居場所など、年齢によって異なる「必需」が目立つ
- 地域の居場所はできれば必要だと考えている

まとめ　コミュニティかりばの可能性

- ７割程度の人に知られているが、男性、特に50代以下に知られていない
- 自転車修理店、フリマボックス、七タビアガーデンは若年層の認知度高い
- お困りごとサポートは、自立した生活を愛着のある地域で続けるという、高齢男性のニーズに応えるはずだが知られていない

※交流を前面に出すと限界がある
「必需」を満たして必然的に顔を合わせやすくするような「第一層」の居場所づくりが必要

第一層の居場所からはじまるつながり

https://shiawasenomura.org/restaurant/shiawase_marche/

https://tanosu.com/gourmet/111886/

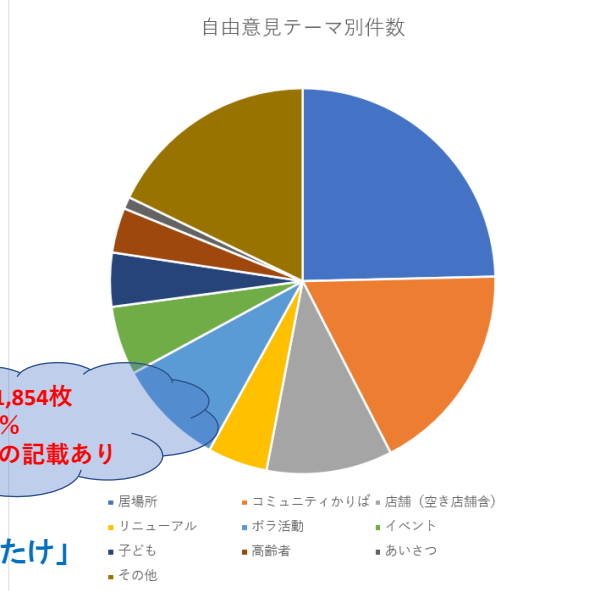
狩場台・糀台地区における暮らし・居場所調査

「自由意見」まとめ

区分	件数	割合 %
居場所	98	**24.6**
コミュニティかりば	71	**17.8**
店舗（空き店舗含）	42	10.6
リニューアル	20	5.0
ボラ活動	36	**9.0**
イベント	23	5.8
子ども	18	4.5
高齢者	15	3.8
あいさつ	4	1.0
その他	71	17.8
計	398	99.9

15.6

336枚/1,854枚
18％
５枚に１枚の記載あり



自由意見に見る地域の皆さんの「思いのたけ」

居場所についての記載

合計 **98** 24.6％	81	居場所の必要性、具体的な居場所の姿の記載あり。 ・その中でも３名の方は、子どもを含め多世代で、誰でも年齢に関係なく気軽に集える場所があれば。 ・スポーツジムやカフェの運用できるようお手伝いしたい。 ・囲碁、将棋、麻雀、ボーリング、カラオケ、ヨガ、ゴルフ etc
	11	・子どもの遊び場が欲しい。　・高齢者が子どものお世話を。 ・地域とは別の場所がある。　・今は必要性を感じない。 ・NPOは場所が狭すぎる。　Etc
	3	その他

コミュニティかりばについての記載

合計 71 17.8%	47	コミュニティかりばに対する「ねぎらい」「感謝」「応援」の記載 ・このうち、改善提案が５枚 　移送サービス、フリマボックス、自転車修理店、若返り、etc ・このうち今回初めて「コミュニティかりば」を知ったが５枚 ・「コミュニティかりば」が「かりばプラザ」にあることで、自治会とはまた違う、街の中心の目のような役割があるように感じられ、安心感が生まれていると思う。
	21	入りにくい…空間が狭い。入口が狭い。いつも同じ人たちがいる。 事務所の様で親しみを感じない。閉鎖的な感じがする。 仲良しクラブにしか見えない。 狩場台の人だけが交流出来るのかと思っていた。
	3	その他

「かりばプラザ」についての記載

合計 62 15.6%	42 (店舗)	・トイレを改修してほしい。　・気軽に行ける喫茶店が欲しい。 ・コンビニが欲しい。　・魅力的なお店が欲しい。 ・トーホーの品が、種類が少ない、値段が高い、新鮮でない。 ・ベンチがあるが、夏の酷暑にはガラスの屋根から照りつける日射しが強く休息できない。 ・かりばプラザ南側の交差点付近で、テナントの関係業者の駐禁を見かけます。以前、交差点で人身事故がありました。かりばプラザの無料駐車場を利用するよう、テナントが関係業者へ協力要請してほしい。 ・子どもの日、七夕などでかりばプラザ広場を美しくかざりつけをしていて楽しい。
	20 (リニューアル)	・トイレをきれいにして欲しい。　・リニューアルは進んでいるのか。 ・リニューアルの詳細を知りたい。　・リニューアルの情報開示を。 ・お弁当や手造りの惣菜を売るお店がほしい(共働きや高齢者のため)。

ボランティアについて

36 9.0%	・地域の活性化には賛成ですし、できることは協力したいと思います。男性48歳 ・介護職なので集いがあれば、ぜひお手伝いしたいなとは思います。女性54歳 ・まだ担い手にはなる余裕はありませんが少しずつ参加していければと…。女性40歳 ・狩場台地域の方々が運営、活動されているようで、そこに入ってよいか思案します。ちょっと遠慮があります。アンケートの集約で方向性が決まれば勇気をもっと参加させていただきたいと思います。女性71歳 ・高齢者向けのスポーツジムや喫茶・カフェを運用できるよう利用したい。又、お手伝いしていきたい。男性71歳 ・仕事がおちつけば、お手伝いもできるかと思います。子どもが楽しく安全に暮らせる地域になればと思います。男性45歳